

小児在宅医療支援センター シリーズセミナー 「～小児の在宅緩和ケア・ 在宅看取りを考える～」

脳腫瘍発症から「在宅」までの道のり

在宅での看取りを決意した背景。呼吸器装着への葛藤。また、告知のあり方や、MSW、在宅医、訪問看護師、PT、ST、からの様々な支援について感じたこと等、病気の進行に伴う家族の心情の変化などをお話いただきます。そして、医療職や福祉職が病院や在宅での子どもの看取りに関わるにあたってどのようにすれば子どもと家族がおだやかに過ごせるのか、一緒に考える機会にしたいと思います。

【日時】 平成31年3月2日（土）
14時00分～16時00分

【会場】 熊本大学医学部附属病院
医学教育図書棟3階 第1講義室

【対象】 小児の在宅緩和ケア・
在宅看取りに関係のある全ての方

【参加費】 無料

【申込み】 参加のみであれば事前申込不要
3月1日までに、事前申込された
方には配布資料をご用意致します
右QRコードからお申込みください



プログラム

- 14時00分～ 開会の挨拶
小児在宅医療支援センターの活動紹介
熊本大学医学部附属病院
小児在宅医療支援センター特任講師 小篠 史郎
- 14時10分～ 特別講演（60分）
脳腫瘍発症から「家で看取る」
までの道のり 谷口 美智代 様
- 15時10分～ 谷口様との質疑応答
15時25分～ 参加者同士のディスカッション
15時55分～ 閉会の挨拶（小篠）
16時00分 閉会

【主催・お問い合わせ先】

熊本県補助事業 熊本大学医学部附属病院 小児在宅医療支援センター
Tel 096-373-5653 e-mail info@kumamoto-children.net

【後援】 熊本県看護協会